

情 報 公 開 文 書

研究の名称	CD26 陽性の白血病幹細胞を標的とした慢性骨髄性白血病の新規治療の基礎的検討
整理番号	R2019151
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学附属病院 血液内科 佐藤 勉
研究の概要	<p>【研究対象者】 本研究の対象となる患者さんは、慢性骨髄性白血病の方で、2013年10月から2022年5月の間に富山大学附属病院血液内科で骨髄検査を受けた方です。</p> <p>【研究の目的・意義】 慢性骨髄性白血病の治療にはグリベックやタシグナ、スプリセルなどの薬が使われて一定の治療効果が得られています。しかし、これらの薬が効かないタイプの慢性骨髄性白血病があることがわかっています。そこで、慢性骨髄性白血病の治療の新しい標的を見つけ出すために今回の研究を行います。</p> <p>【研究の方法】 慢性骨髄性白血病の診断のために行った骨髄検査で採取した骨髄液の一部を研究に使用します。また、本研究で用いるデータは以下の通りです。 慢性骨髄性白血病の発病の元となる幹細胞が、骨髄中にどの程度含まれているのかを測定し、回収した慢性骨髄性白血病の幹細胞の数を計測します。 慢性骨髄性白血病の幹細胞の標識である CD26 に対する抗体と、慢性骨髄性白血病の幹細胞と一緒に培養した時に細胞の増え方がどのくらい阻止されるのかを調べます。 慢性骨髄性白血病の幹細胞を実験用のマウスに移植して慢性骨髄性白血病のモデルとなるマウスを作り、そのマウスに CD26 に対する抗体を投与した時にマウスの生存率が良くなるのかどうかを調べます。</p> <p>【研究期間】 2019年12月24日～2025年6月30日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 今回の研究成果は学会や学術雑誌で発表される予定ですが、その内容に患者さん個人を特定できる情報は含みません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	上記 ～ の通りです。これらは順天堂大学大学院医学研究科 免疫病・がん先端治療学講座で行われます。研究試料の対応表は、当院の佐藤勉が保管・管理し、共有されることはありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	順天堂大学大学院医学研究科 免疫病・がん先端治療学講座 森本幾夫 富山大学附属病院 血液内科 佐藤 勉
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	順天堂大学大学院医学研究科 免疫病・がん先端治療学講座 森本幾夫
研究対象者、親族等関	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）

係者からの相談等への 対応窓口	を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する 相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話：076-434-7301 FAX：076-434-5027 E-mail：tsutomus@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名：富山大学附属病院血液内科・佐藤 勉
--------------------	--